

緊急事態宣言が解除されました。自粛中は仕事が捗らない、家中が散乱、全ての家事が中途半端であることに疲れ果て、自宅保育と在宅ワークの両立は相当な厳しさがあると判明しました。今後もコロナと長く付き合っていく為に、この経験を基にして暮しも仕事も更に工夫を重ねる必要があります。

ポストコロナのワークスタイル

登園自粛による娘の自宅保育も2ヶ月目。集中して仕事をする為に朝3時に目覚ましを合わせるも、前夜に何事もなくすんなり入眠できることは稀で、なかなかペースを掴めない日々です。そうするとメインの業務は娘が昼寝をしている僅かな時間に集中ということになるのですが、これも日によってばらつきがあるためルーティン化まで至りません。

巷では急速にオンラインライブや講座などが乱立し始めましたが、子育てしながら在宅ワークをしていると、オンラインとはいえ決まった時間に開催されるこれらのイベントに参加することはほぼ不可能。パソコンやスマホを開く時間が極端に減り、雨天以外は公園や山野を巡り、畑作業に汗を流す毎日です。オンライン化が進展する世の中に逆行し

て、アナログな時間が増えていく日々で気付いたことは、実はこれが本来の生活のあり方なのかもしれないということ。生活があってそれを実現するための働き方がある。ポストコロナのワークスタイルは、仕事ありきの生活から生活ありきの仕事へとよりフレキシブルにシフトし、そういった働き方を許容できる企業が生き残っていくのではないかと。(太)

武士道を仕事に活かす-2「武士道の徳目-義」

新渡戸稲造は、武士道を義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義という7つの徳目にまとめました。武士道を仕事に活かすにあたって、まずはこの7つの徳目の一つずつ紐解いていきたいと思います。「義」は武士道の中で最も重要な概念です。不正や卑劣な行為を自ら戒め、命を賭して正義を貫く精神です。目的達成の為に何をしてもいいというのでは具合がよくありません。人は往々にして損得を基準に判断してしまいがちです。人として正しいかどうか、良いことか悪いことか、正不正といった善悪を判断基準とすること。それが義なのです。ビジネスで言えば、儲けがさえすれば良いと利益追求主義に陥ると人を不幸にします。欧米の経営学者や経営者達は、この教訓から今日本の武士道を熱心に研究しています。その中で一番大切とされている概念もまた義なのです。義を欠く者は不義に泣く、と言います。義には「正しい行い」の他に、「打算や損得から離れた」という意味があります。義を重んじる会社が増えれば世の中はもっと素晴らしくなると信じています。(太)

ようこそ太仁亭へ！

初めてソラマメの栽培に成功しました。タネの発芽率は100%で、植え付け後にアブラムシの被害もなく、すくすくと成長。数多くの花を咲かせ、見た目にも美しい立派な莢が天に向かって実っています。太仁亭では、莢ごと焼いてから塩をつけて頂くのが一番のお気に入りです。

ソラマメは、漢字で「空豆」とか「蚕豆」と書くそうです。「空」は、莢が空

に向かって成長するからだそうで、「蚕」は、莢が蚕に似ているとか、蚕を育てる時期に美味しくなるからと言われていたそうです。丁度今号の発行日は、七十二候で「蚕起食桑(かいこおきてくわをはむ)」という時期に当たります。長く日本経済を支えてくれたお蚕様に敬意を表して、太仁亭では「蚕豆」と書きたいと思います。(仁)

ブカツのオンライン開催を検討

開催を自粛していたブカツ(地域密着型小規模異業種交流会)の再開を検討していましたが、引き続き3密を回避する目的で店舗における対面での開催はもう少し見送ることにしました。ただこのまま自粛を続けるのもどうかということと、「新しい生

活様式」への適応と、今後、高い確率で起こりうる第2波、第3波の到来による「自粛の繰り返し」を想定して、思い切って「オンライン化」を検討中です。イベントの内容や参加方法など詳細が決まり次第WEBサイトや当紙面にてご案内致します。(太)

今月のお豆ちゃん

家での遊びを充実させる為にクレヨンを購入したら、祖父母から落書き帖が3冊も届いたので、「すけっちをする」と言って畑に持参しました。見晴らしの良いお寺の塀のそばを選んで座り、熱心に描いていたその絵は、父さん母さんがニコニコと万歳して畑仕事を楽しむ姿。畑に向き合う姿が、お豆ちゃんの目にそのように映っているのだとしたら、それは我々にとってこの上ない喜びです。お豆ちゃん、ステキな絵をありがとう。(仁)



そらまめ 蚕豆の花

今年は、蚕豆の花を沢山見ることができました。蚕豆のことを色々調べていると、花の説明において「蝶形花(ちょうけいか)」と表現されているのが確認できます。これまで鳥が飛ぶ姿に映っていましたが、多くの蝶が飛び交うこの季節にぴったりだと感じます。

今年はお豆ちゃんが初めて虫取り網を持って走り回っています。特に蝶を捕まえるのが楽しくて、右へ左へふわりふわりと翻弄されています。(仁)

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2020.5.25 小満(しょうまん)

蚕起食桑(かいこおきてくわをはむ)

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。